

		令和4年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和4年度	
			計画	実施状況
(1) みんなが支え合う豊かなコミュニティづくり				
① 地域ごとの小地域福祉計画づくり				
A 地域座談会等の開催支援		・増進型地域福祉の考え方を取り入れた課題の話し合いから理想とする状態の実現に向け、地域の多様な主体が話し合う地域座談会を開催 ・対象:南住吉・山之内・清水丘 ・地域の課題解決策・地域福祉推進策を地域の多様な主体が集まり話し合える場の定着をめざしていく。	南住吉地域 ○平成31年度実施するも1回目しか実施できていないことから、今年度の実施方針について確認(地活協会長等)(6月～) ○えーまちフェスタ実行委員会との関係について整理(6月～) 山之内地域 ○開催に向け、日時調整(4～6月) ○開催(8～10月) ○結果集約(11月) ○振り返り及び次年度に向けた打ち合わせ(12～2月) 清水丘地域 ○開催に向け説明(地活協会長等)(7月～) ○高齢者支援ネットワーク会議をコアメンバー会議と位置づけ開催(7月～) ○参加予定者への説明及び依頼(8～9月) ○開催(10～12月) ○結果集約(12月) ○振り返り及び次年度に向けた打ち合わせ(1～2月)	【8月末】 ・地域座談会については、昨年度開催予定であった清水丘地域・山之内地域において開催できるよう、準備を進めている。 ・山之内地域においては、6月20日にコアメンバー会議を開催し、開催日時の調整と参加メンバーの確定を行い、8月31日と10月13日に開催を決定。しかし、コロナの急速な感染拡大により8月31日の第1回目については延期となる。 ・清水丘地域においても、7月11日開催の高齢者支援ネットワーク会議において、座談会開催について確認し、今後、メンバー選定や日程について協議していく。 ・東粉浜地域では、3月24日開催のコアメンバー会議において令和元年度開催した地域座談会での議論に基づき、地域の子どもの顔が見えるイベント“ハロウィンナイト”の実施に向け検討が進められており、令和4年11月実施に向け実行委員会を立ち上げていくことが確認できている。 【1月末】 ・東粉浜地域において、令和4年10月30日(日)に地域の子どもの顔が見えるイベントとして“東粉浜ハロウィン仮装大会”を開催。100名の小学生とその家族が参加しました。11月22日(火)に反省会を開催し、次年度へつなげる議論がされました。 ・山之内地域においては、8月31日と10月13日に地域座談会を開催を予定していましたが、コロナの急速な感染拡大により延期となりました。地域から地域活動協議会の構成団体だけでなく地域の多様な主体を巻き込んだまちづくりを進めていくうえで地域座談会の開催が必要とのご意見をいただき、2月に地域の主要メンバーと再開と開催形式について検討し、進めていくこととします。
	B 小地域福祉計画の支援	策定に向けた議論を開始し、1地域において小地域福祉計画(ビジョン)を策定、1地域において素案を策定する 対象:墨江・東粉浜・長居・苅田・苅田南	・平成30年度に座談会開催の地域【苅田・長居】 〈これまでの議論経過を踏まえ事業実施に向け取り組む〉 ○今までの経過の振り返り(7月～) ○振り返りを受け、方向性の決定(8月～) ○事業実施に向けた協議(9月～) ・平成31年度に座談会開催の地域【東粉浜・苅田南】 〈座談会議論に基づく事業実施に向けた協議を進める〉 ○座談会の結果を振り返り(8月～) ○振り返りを受け、方向性の決定(9月～) ○事業実施に向けた協議(10月～) ・墨江地域福祉会議の議論を踏まえたビジョン策定への支援	【8月末】 ・墨江地域において、毎月開催される墨江地域福祉会議(地域のコアメンバーと包括、専門職等が参加し、地域福祉について話し合われる場)において、地域福祉ビジョンの策定について検討。地域の課題や地域のめざすべき理想の姿について話し合わせ、地域課題の解決や理想の姿実現への取り組みについて「墨江地域福祉ビジョン(素案)」として取りまとめられた。本年度11月開催予定の「ケアマネ交流会」において、「墨江地域福祉ビジョン(案)」を報告し、意見を受けることにされており、引き続き、内容を精査し、地域で公表されていくことになる。 【1月末】 ・墨江地域においては、本年度11月開催予定であった「ケアマネ交流会」が、内容、名称を変更し「墨江地域福祉研修会」として1月20日(金)に開催され、その中で「墨江地域福祉ビジョン(案)」を報告され、確認されました。 ・東粉浜地域では、地域座談会の議論に基づくイベントを開催し、反省会で出されて意見やこれまでの座談会の議論に基づいて、今後、小地域福祉計画策定の議論を進めます。

		令和4年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和4年度	
			計画	実施状況
② ご近『助』福祉と居場所づくり	A ネットワーク会議の開催支援	withコロナの地域福祉活動が地域で実施できている。	・地域・子ども食堂連絡会 4回 ・高齢者食事サービス連絡会 1回 ・子育てサロンボランティア連絡会 1回 ・子ども見守り隊連絡会 1回 ・子ども見守り隊校区别意見交換会 14校下各1回 ・子ども見守り隊幹事会・交流会 1回 ・ふれあい喫茶ボランティア連絡会 1回	【8月末】 ・地域・子ども食堂連絡会(4/12、7/5) 2回 ・地域・子ども食堂役員会(4/5) ・すみよしこども映画会(5/8) 1回 ・高齢者食事サービス連絡会(8/22) 1回 ・子育てサロンボランティア連絡会(秋頃予定) ・子ども見守り隊連絡会(7/22) 1回 ・子ども見守り隊校区别意見交換会(9月～12月頃予定) ・子ども見守り隊幹事会・交流会 ・ふれあい喫茶ボランティア連絡会(冬予定) 【1月末】 ・地域・子ども食堂連絡会(10/4、1/23) 2回 ・地域・子ども食堂役員会(9/9、12/20) ・子育てサロンボランティア連絡会(11/7) 1回 ・子ども見守り隊校区别意見交換会(11/9住吉小、11/16東粉浜小、11/17大空小、苅田南小、11/24南住吉小、山之内小、11/29大領小、苅田北小、12/14依羅小、12/20苅田小)※その他アンケート実施 ・子ども見守り隊幹事会(12/7、1/19) 2回 ・子ども見守り隊交流会(2/21予定) 1回 ・ふれあい喫茶ボランティア連絡会(1/23) 1回
	B 食事サービスやふれあい喫茶などの開催情報の発信	・各地域での食事サービスやふれあい喫茶などの開催情報を広報すみよしや区ホームページで周知をおこない、誰もが気軽に参加できる状況をめざす。	・広報すみよしで食事サービスやふれあい喫茶的紹介(年1回) ・区ホームページで開催日や連絡先など周知(通年)	【8月末】 ・住吉区社会福祉協議会からの情報提供を中心に各地域の開催・中止情報を集めホームページを更新 【1月末】 ・住吉区社会福祉協議会からの情報提供を中心に各地域の開催・中止情報を集めホームページを更新

		令和4年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和4年度	
			計画	実施状況
(2) 支援が必要な人々へのつながりづくり				
	① 身近な地域での相談体制の構築			
	A 地域と専門職のネットワーク強化	地域と専門職の連携による地域の出張相談会の実施(4か所以上) 地域福祉活動者と専門職の交流会を実施できている(3回以上)	・おりおのカフェ(第3日曜日) ・墨江出張相談(第2月曜) ・墨江地域福祉会議(第2火曜日) ・地域活動者と専門職との交流会	【8月末】 ・おりおのカフェ(第3日曜日)(4/17、5/15、6/19、7/17、8/21) 5回 ・墨江出張相談 4回(4/11、5/9、6/13、7/11) ・墨江地域福祉会議 2回(5/10、6/14) ・5/17南住吉「地域で共に暮らす知恵」の開催 ・7/11清水丘地域高齢者支援ネットワーク交流会の開催 【1月末】 ・おりおのカフェ(第3日曜日)(9/18、10/16、11/20、12/18、1/15) 5回 ・墨江地域福祉会議 5回(9/13、10/11、11/8、12/13) ・墨江地域福祉研修会(1/20) 1回
	B 地域支援事務所の窓口機能・拠点機能の充実	地域支援事務所の今後の方向性について検討が始まっている。	・遠里小野常駐委員会(第2火曜日) ・山之内見守りボランティア会議(月1回) ・地域支援事務所の在り方を検証(会議の開催) ・常駐地域支援相談員研修会の開催	【8月末】 ・遠里小野常駐委員会(第2火曜日)(4/12、5/10、6/14、7/12、8/9) 5回 ・山之内見守りボランティア会議(月1回)(4/28、5/30、6/30、7/29、8/30)各2回ずつ 10回 ・苅田常駐地域支援相談員との打ち合わせ(4/6) 1回 ・地域支援事務所の在り方を検証(会議の開催) ・常駐地域支援相談員研修会の開催(10月、11月開催予定) 【1月末】 ・遠里小野常駐委員会(第2火曜日)(9/13、10/11、11/8、12/13、1/10) 5回 ・山之内見守りボランティア会議(月1回)(11/29、12/26、1/31)各2回ずつ 6回 ・地域支援事務所の在り方を検証(地域見守り支援システム検討会議での検討 9/16) 長居地域(11/28)2回 ・常駐地域支援相談員研修会の開催(10/25、11/24)2回

		令和4年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和4年度	
			計画	実施状況
②子育て世代の孤立防止				
	A 「はぐあっぷ」事業の継続実施	・妊娠期から就学前までの相談体制や関係機関との連携を強化し、切れ目のない子育て支援で子育てをサポートする。	・母子手帳交付時面接、新生児訪問、乳幼児健診等を実施し、ニーズの早期発見と支援、必要時は関係機関等へ繋げる。 ・子育て支援連絡会の開催 ・子育て応援マップやすみちゃん子育てネットの発行。 ・SNSを通じた子育て情報の発信 ・利用者支援専門員の配置と相談の実施 ・子育て講座や子育て教室の実施 ・保健師等のアウトリーチと、両親学級の実施 ・乳幼児の親支援のためのプログラム(BPプログラム)の実施	【8月末】 ・子育て支援連絡会の開催(毎月1回) ・子育て応援マップ発行(6月)。 すみちゃん子育てネットの発行(2か月に1回) ・SNSを通じた子育て情報の発信(随時) ・利用者支援専門員の配置と相談の実施(通年) ・子育て講座や子育て教室の実施(いやいやカフェ、のびのびひろば、びよびひろば、離乳食講習会等定期開催) ・保健師等のアウトリーチ(随時)、両親学級の実施(1回) ・乳幼児の親支援のためのプログラム(BPプログラム)の実施(第1回、第2回開催) 【1月末】 ・子育て支援連絡会の開催(毎月1回) すみちゃん子育てネットの発行(2か月に1回) ・SNSを通じた子育て情報の発信(随時) ・利用者支援専門員の配置と相談の実施(通年) ・子育て講座や子育て教室の実施(いやいやカフェ、のびのびひろば、びよびひろば、離乳食講習会等定期開催) ・保健師等のアウトリーチ(随時)、両親学級の実施(4回)
	B すみちゃん「こども・子育て安心」見守りネットワークの推進	・支援を要するこどもや子育て世帯に早期に気づき必要な支援につなげられるよう、こども・子育てに関わる関係機関や地域団体等の連携を進める。	・こどもや子育て世帯にかかわる区内関係機関や地域団体等が協力し、地域をあげてまちぐるみでこどもや子育て世帯を見守り支えていく。(通年) 具体的には、見守り体制の構築や見守り支援の心得、見立ての仕方や関係機関の連絡先等を記したハンドブックの作成、研修会・講演会などの開催などを行う。	【8月末】 ・「リーフレット『ヤングケアラーを知っていますか』」を地域活動協議会、民生委員・児童委員協議会、主任児童委員連絡会、こども見守り隊連絡会等で配布し、活用依頼。 ・地域で見守り活動を行っている方々の意見要望を踏まえた内容の研修や啓発用ハンドブック等作成予定。 【1月末】 ・「ヤングケアラー」に対する居場所やピアサポートの取り組みを実施している事業所や当事者を招き、2月に研修会を開催予定。 ・子育て相談室における相談内容や各種関係機関の連絡先等を紹介したリーフレットを作成中。

			令和4年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和4年度	
				計画	実施状況
		C こどもサポートネットの継続実施	・支援を必要としている児童・世帯を継続的に把握し、適切に福祉制度・資源につなぐ。	・各学校でスクリーニングⅡ会議を学期に1回以上開催し、支援を必要とするこども・世帯を把握する。 ・こどもサポートネット推進員による巡回相談(学校訪問)で定期的にこども・世帯の状況を把握する。 ・関わりに同意を得られた世帯から順次面談、家庭訪問等を行い、必要とする支援・制度につないでいく。	【8月末】 ・スクリーニング会議Ⅱを小学校前12校、中学校6校においてのべ24回開催。 ・スクリーニング会議Ⅱにおいて、159人の児童生徒についてアセスメントを実施。 【1月末】 ・スクリーニング会議Ⅱを小学校14校、中学校8校においてのべ37回開催(11月末時点)。 ・スクリーニング会議Ⅱにおいて、175人(11月末時点)の児童生徒についてアセスメントを実施。
		D 「地域の拠点づくり・潜在的リスクへのアプローチ」事業の実施	・地域の拠点に子育ての専門職が巡回し、こどもや子育て世帯を見守る地域ボランティア等への情報提供を通じ、地域における支援力の向上を図るとともに、子育て世帯の身近な相談の場を確保する。 ・見守りが手薄な対象へのアプローチを行い、潜在的リスク把握と必要な支援につなげる。	・地域の拠点(地域集会所等)に子育ての専門職(保育士、看護職など)が定期的に巡回し、こどもや子育て世帯を見守る地域ボランティア等への情報提供を通じて、地域における支援力の向上を図り、子育て世帯の身近な相談の場を確保する(通年)。 ・乳幼児健診の狭間期である2歳6か月児を対象に、全家庭への質問書送付等によるポピュレーションアプローチを実施(通年)。 ・全ての4歳児を対象に、ポピュレーションアプローチの実施(通年)。 ・要対協登録事例の中で、特に潜在的リスクが懸念されるケースなど見守りが手薄なケースへのアプローチを行い、必要な支援につなげる(通年)。	【8月末】 ・11地域で子育てなんでも相談会を立ち上げ、残り1か所も子育てサロンに参加し、必要に応じて相談を受けている。その他、見守り支援事務所11か所すべて、子育てサロン、つどいの広場、保育園等を巡回中。 ・2歳6か月児を対象に、全家庭への質問書等を送付中(267件送付)。 ・4歳児のうち所属の無い児童のいる世帯に家庭訪問を実施中。また、区内の保育所幼稚園と調整し、施設訪問について準備中。 ・要対協登録事例の中で、見守りが手薄なケースへのアプローチを行い、必要な支援につなげる。 【1月末】 ・現在全地域で相談会の定期的開催や子育てサロン、つどいの広場、保育所・幼稚園等への巡回相談を実施中。また、地域の見守り支援事務所への専門職の巡回も継続中。 ・2歳6か月児を対象に、全家庭への質問書等を送付するなどポピュレーションアプローチを継続実施中(784件送付:12月末時点)。 ・区内の保育所幼稚園と調整のうえ訪問し、在籍する4歳児への健康教育等を実施。 ・要対協登録ケースなど支援の必要な世帯へのアプローチを実施。

		令和4年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和4年度	
			計画	実施状況
	③専門機関の連携強化			
	A 「総合的な支援調整の場(つながる場)」の活用	区内関係機関の協力を得て、埋もれたケースの発掘に努める	・総合的な課題を有する世帯に対する支援を前進させるため、「つながる場」会議を年間で延べ10回程度の開催を目指す。	【8月末】 ・継続ケースについて、1件開催。 ・6月末に新規依頼があり、開催を決定(9月開催予定) ・今後、継続ケースについても進捗状態を確認し、開催する予定。 【1月末】 ・新規ケース1件 相談ケース3件開催 ・今後、継続ケースについても進捗状態を確認し、開催する予定。
	B 子ども若者育成支援事業の継続実施	不登校やひきこもり等で悩んでいる子ども・若者を掘り起こし、相談事業に繋げるなどにより継続的な支援を行なう。	・相談対応について、従来は火曜日(半日)木曜日(1日)であったが、相談機会を増やすべく今年度より火曜日も1日とし、週2日で実施する。 ・ケース検討会議年間6回開催する。 ・保護者向け講座を2回開催する。 ・フォーラムを年1回開催する。 ・社会福祉施設連絡会と連携を図り、自立に向けた支援を進めていく。	【8月末】 ・相談事業(毎火曜日および木曜日全日)については、予定通りに実施。相談件数としては、R4年7月28日現在、実数47件、面談のべ件数128件となっている。 ・ケース検討会議(年6回)は当初予定どおりの日程で実施できしており、今後も予定通りの実施を見込んでいる。 ・保護者向け講座2回(令和4年6月16日・令和5年2月2日)やフォーラム1回(令和4年11月25日)を開催予定。6月16日の保護者向け講座は、予定通りに実施。参加者は15名。 ・4年度より他機関での支援が満了するものに対して、切れ目のない支援を行うため、対象者や保護者の同意による事前登録を行い、当事者の状況確認を実施し、必要に応じて本事業の「相談事業」に結び付けていく。7月末現在0名登録。今後も対応を行う。 ・ゆるやかな就労の場として区役所と連携する3つの福祉施設の協力のもと、2名が清掃作業の非常勤で雇用となった。雇用後についても月1～2回の面談支援を行い、定着を目指す。3つの福祉施設と課題を抽出や改善策を検討する会議を開始し、就労先拡大及び人数枠拡大を図る。 【1月末】 ・相談対応について、火曜日・木曜日週2回で実施 ・ケース検討会議年間6回開催。(予定 3/2・3/23) ・保護者向け講座を2回開催。(予定 2/21) ・フォーラムを年1回開催。 ・事前登録・ゆるやかな就労支援を実施。 ・社会福祉施設連絡会と連携を図り、自立に向けた支援を進めていく。

		令和4年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和4年度	
			計画	実施状況
	④ つながり・みまもり・支えあいシステムの構築			
	A 区実務者代表者会議等を活用した包括的な支援の実施	・区実務者代表者会議の運営要綱を策定し、年1回定例開催する。	・区社協と協議し、要綱の策定、開催スケジュールを定める。(7月～)	【8月末】 ・7月28日区社協と打合せ会議を開催し、要綱策定に向け協議を行った。 【1月末】 ・12月23日区社協と打合せ会議を開催し、要綱(案)及び構成メンバーについて協議を行い、年度内開催に向け引き続き検討していく。
	⑤ 虐待防止と権利擁護支援			
	A 成年後見制度の利用促進	・権利擁護が必要となった時に、速やかに窓口につながるようにする。	・広報「すみよし」にて成年後見制度及び利用窓口の周知を行う。 ・必要時、ホームページに掲載している記事の更新を行う。 ・地域包括支援センターが行う総合相談や地域ケア会議にて、制度利用が必要な事案に対して後方支援を行う。	【8月末】 ・広報「すみよし」(9月号)にて成年後見制度及び利用窓口の掲載予定。 【1月末】 ・広報「すみよし」(9月号)に成年後見制度及び利用窓口の掲載実施。

		令和4年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和4年度	
			計画	実施状況
(3)災害時に備えた地域における支えあいの仕組みづくり				
① 住吉区地域見守り支援システムの構築				
	A 日頃の見守り・声かけの未実施地域への働きかけ	・重点地域(長居・苅田・苅田南・苅田北、南住吉)での、日頃の見守りが地域全体での取り組みとなっている。 ・見守り活動が実施できている地域が増えている。 ・災害時要援護者支援台帳の情報が細部まで更新できていて、見守り活動に生かされている。	・重点地域(長居・苅田・苅田南・苅田北、南住吉で実施)では、地域見守り支援システム検討会議で情報を共有、協議し地域ごとの支援方針や戦略を策定し、支援する。 ・見守り方法について検討、地域に情報提供し、実施に向けて支援する。 ・新規台帳を未実施地域に交付するときには、特に台帳情報の未更新者を洗い出し、見守り、声かけ運動の実施を検討できるよう働きかけていく。	【8月末】 ・役員改選に伴い、希望する地域には各地域活動協議会の会議にて見守り支援システム説明を実施 (清水丘6/23・依羅6/23・南住吉5/20・苅田北6/15) ・苅田北地域の我孫子東第6住宅自治会の役員改選につき、見守り支援システム、訪問の仕方について説明(5/14) ・長居地域において、現在の取り組み状況の共有と今後の進め方について打ち合わせ(5/30) ・苅田地域の地域支援員、地域支援相談員を対象に見守り支援システム、訪問の仕方などについて説明(7/29) ・山之内地域 町会別個別支援プラン作成に向けた説明会(6/23・7/14・7/19・7/22AMとPM・7/26・8/9) 7回 【1月末】 ・重点地域での見守り支援システム検討会議で、各地域での見守り支援活動について、、現在の取り組み状況の共有と今後の進め方について協議に参画し、各地域において事業の進め方について説明し、必要な支援を実施する。(長居5/30・11/28、苅田7/29・12/23、苅田南11/28、苅田北6/15、南住吉5/20) 7回 ・役員改選に伴い、希望する地域には各地域見守り支援者の会議にて見守り支援システム説明を実施 (清水丘6/23・12/22、依羅6/23・1/23) ・依羅地域の我孫子東町会我孫子南住宅の役員改選に伴い、見守り支援事業の説明と協力依頼をする。(11/12) ・台帳更新時に見守り声かけ運動推進の働きかけ(墨江10/15、苅田北10/19、苅田10/21、依羅10/27、清水丘10/27、住吉10/29) ・山之内地域 町会別個別支援プラン作成に向けた説明会(6/23、7/14、7/19、7/22AM・PM、7/26、8/9、9/20、9/22) 9回

			令和4年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和4年度	
				計画	実施状況
② 施設や事業所との連携・協働の推進					
	A	住吉区総合防災訓練の実施	・全12地域で総合防災訓練を実施し、地域防災力の向上を図る。	・総合防災訓練に向けた各地域での調整(4月～6月) ・実施内容、場所の調整 ・実施に向けたスケジュール調整 ・総合防災訓練実施に向けた各地域での事前準備(7月～10月) ・防災会議の開催 ・模擬訓練の実施 ・総合防災訓練の実施(11月) ・総合防災訓練の振り返り(12月～2月) ・参加者アンケート集約 ・地域活動協議会及び災害救助部長会議等での報告、意見交換 ・令和5年度総合防災訓練の概要について検討(2月)	【8月末】 ・防災専門会議を開催(6月29日) ・総合防災訓練概要を地域活動協議会会長会で周知(3月10日) ・各地域での説明会を実施(5月) - 実施内容の詳細を説明 - 実施に向けたスケジュールを調整(場所は調整中) ・災害救助部長会議を開催(7月27日) ・模擬訓練の実施予定(9月～10月) 【1月末】 ・模擬訓練の実施(9月～10月) ・防災リーダー研修(10月1日住吉消防署にて) ・第2回防災専門会議を開催(10月26日) ・総合防災訓練を実施(11月12日) ・総合防災訓練の振り返り(12月～2月) - 参加者アンケート集約 - 地域活動協議会及び災害救助部長会議等での報告、意見交換を予定(2月) ・令和5年度総合防災訓練の概要(案)を作成予定(2月)
	B	福祉避難所等連絡会の開催	・年2回福祉避難所等連絡会を開催し、情報共有及び災害対応力の向上を図る。	・第1回福祉避難所小委員会の開催(7月) ・第1回福祉避難所等連絡会の開催(8月) ・総合防災訓練の実施について ・福祉避難所等開設運営動画について ・第2回福祉避難所小委員会の開催(1月) ・第2回福祉避難所等連絡会の開催(2月) ・総合防災訓練の振り返りについて ・令和5年度総合防災訓練の概要について検討(2月)	【8月末】 ・第1回福祉避難所小委員会の開催(7月20日) - 福祉避難所等開設運営動画の作成にかかる意見交換 ・第1回福祉避難所等連絡会の開催(8月23日) - 総合防災訓練の実施について意見交換 - 福祉避難所等開設運営動画の作成にかかる意見交換 ・業務継続計画(BCP)及び食事提供訓練実施(8月23日) 【1月末】 ・8月23日実施の業務継続計画(BCP)及び食事提供訓練の振り返り(12月14日) ・福祉避難所等開設運営動画(10月8日撮影)を作成予定(3月) ・第2回福祉避難所等連絡会(研修会)を開催予定(2月10日) - 佛教大学専門職キャリアサポートセンター実習指導専任講師後藤 至功氏による『福祉避難所(福祉施設)におけるBCPの作成について』講義

			令和4年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和4年度	
				計画	実施状況
		C 社会福祉施設連絡会等とのネットワークの強化	・防災に関する体験や災害時に支援や配慮を必要とする方々との交流を通じて、みんなで災害への備えを考える防災イベントを開催する。	・企画会議の開催(6月～7月) ・第1回実行委員会の開催(8月～9月) ・第2回実行委員会の開催(10月) ・第3回実行委員会の開催(11月) ・防災イベント「あそぼうさい まなぼうさい おたがいさまの防災」開催(11月予定)	【8月末】 ・第1回実行委員会の開催(8月8日) 【1月末】 ・第2回実行委員会の開催(9月12日) ・第3回実行委員会の開催(10月24日) ・防災イベント「あそぼうさい まなぼうさい おたがいさまの防災」開催(11/26) コロナウィルス感染防止対策を行ったうえで、コロナ禍以前のように体験ブースも設置し定員制限をせず、当日参加も可として実施。今年度は、初めて大和川右岸水防組合もブースを出展し、当日の参加者は103名

		令和4年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和4年度	
			計画	実施状況
(4)地域福祉活動の担い手の層を厚くする取組み				
① 福祉教育・ボランティア活動の取組みの拡充				
	A 区民への地域活動・社会参加の促進講座・研修の開催支援	・講座・研修会の開催により、参加者が自主的な活動に取り組むことができる。」 ・地域福祉活動に関心が高まる講座が開催できるよう区民のニーズや地域の動向等の情報提供、情報共有を行う。	(区社協実施予定の講座) ・手話奉仕員養成講座 ・点字教室 ・精神保健福祉講座 ・ボランティア市民活動セミナー(布ぞうりづくり・あなたにもできる自殺予防) ・傾聴ボランティア養成講座 ・スマホボランティア養成講座 ・災害ボランティア養成講座	【8月末】 ・手話奉仕員養成講座(令和4年4月13日～令和5年2月15日 全40回) ・点字教室(5月11日～7月13日 全10回) ・精神保健福祉講座(6月18日) ・スマホボランティア養成講座(開催予定:11月 全3回) ・災害ボランティア養成講座(開催予定:10月～11月 全3回) 【1月末】 ・手話奉仕員養成講座(令和4年4月13日～令和5年2月15日 全40回) ・スマホボランティア養成講座(11月1日～11月15日 全3回) ・災害ボランティア養成講座(10月27日～11月17日 全3回) ・災害ボランティアセンター設置運営訓練(11/12) ・ボランティア市民活動セミナー(個人情報とは～あなたは大丈夫?～)(12/24) ・傾聴ボランティア養成講座(1月26日～2月27日 全5回)
	B 福祉教育の実施支援	・相互に学びのある福祉教育を実践できている。。 ・他の社会福祉団体とも協力して実践することにより、互いの良い所なども学び、取り入れていっている。 ・講師ボランティアとの交流会ができている。	・福祉教育の実施(対象:地域住民、小・中・高・短大等) (車いす体験、障がい当事者講話等) ・校長会・教頭会での周知。 ・区社協だよりでのPR。 ・実施にあたっては区社協内での情報共有をすすめながら、新たな協力者・協力団体への声かけを検討する。	【8月末】 5月・校長会(23日)・教頭会(30日)で周知活動 6月・大阪公立大学へ車いす10台貸出し(学生を対象とした体験教育)10日～20日・大和川中学校への車いす6台貸出し(生徒を対象とした体験教室)21日～24日・あびこ病院へ高齢者疑似体験セット2組貸出し(職員対象の院内学習)24日～7月2日・区社協フェスティバル(25日)においてパネル展示等の周知活動 7月・車いす体験教室の実施(苅田北地域住民対象)7日【15名参加】 8月・藤こども園へプレママ体験セット1組・新生児人形セット1組の貸出し(こども・保護者・職員を対象とした学習会)18日～9月17日 【1月末】 9月・AOTS関西研修センターへ車いす貸出し(研修生を対象にした学習会)9月26日～12月15日・建国小学校へ高齢者疑似体験セットの貸出し(生徒を対象に福祉教育の実施)9月30日～10月7日 10月・車いす体験教室の実施(いきいきライフサポーター対象)19日【6名参加】 11月・視覚障がい者への理解と手引き体験の実施(建国小学校3年生対象)17日【26名参加】・手話体験教室の実施(建国小学校2年生対象)21日【30名参加】・手話体験教室の実施(長居小学校2年生対象)25日【124名参加】 12月・点字体験教室の実施(住吉小学校6年生対象)1日【54名参加】・聴導犬ユーザーへの理解を深めるお話の実施(長居小学校2年生対象)13日【124名参加】 1月・盲導犬ユーザーへの理解を深めるお話の実施(長居小学校3年生対象)27日【125名参加予定】

			令和4年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和4年度	
				計画	実施状況
		C ボランティア交流会の開催支援	・まちづくり交流ライブの開催を通じて、地縁型・テーマ型の協働事業例が新たに生まれている ・ボランティア同士の交流により情報交換や活動の活性化を図る	・まちづくり交流ライブの実施(2回) ・まちづくり交流プランの実施、支援(2プラン) ・ボランティア交流会の開催(1回)	【8月末】 ・まちづくり交流ライブ:9/6実施予定 ・まちづくり交流プラン ①苅田子ども110番の家まちあるき:12/10実施予定 ②古地図まちあるき:6/17, 7/12, 8/2打合せ実施、12/3実施予定 ・ボランティア交流会(3月予定) 【1月末】 ・まちづくり交流ライブ:9/6「若い世代とつながろう」3/3実施予定 ・まちづくり交流プラン ①苅田子ども110番の家まちあるき:12/10実施 ※打合せ実施(9/21、10/19、12/1) ②古地図まちあるき:12/3実施 ※打合せ実施(10/25)下見(11/5) ・ボランティア交流会(3月予定)

		令和4年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和4年度	
			計画	実施状況
(5)多様な協働(マルチパートナーシップ)による地域づくり				
	① 地域包括ケア体制づくり			
	A 在宅医療・介護連携の推進	・コロナ禍であっても医療と介護の関係者が連携し合える機会づくりを行い、区民が「ACP(人生会議)」について知る機会をつくる。	・住吉区医療・介護連携推進会議の開催(年3回) ・会議で課題抽出を行い、今年度の活動計画を策定する。 (多職種研修や区民啓発を行う等) ・「住吉どらやきの会」の協力と後方支援を行う。	【8月末】 ・住吉区医療・介護連携推進会議の、第1回目開催実施。 ・コロナ禍で、啓発や研修が未定 ・「住吉どらやきの会」Web会議で継続中。 【1月末】 ・住吉区医療・介護連携推進会議の、第2回目開催実施。 ・3月16日市民向け「人生会議(ACP)」啓発講演会開催準備。 ・医療と介護の安心マップ改訂版発行作業。 ・「住吉どらやきの会」Web会議で継続中。
	B 地域包括支援センターの認知度の向上・運営の充実	・地域包括支援センターが高齢者の総合相談窓口として認識できるよう支援する。	・広報「すみよし」にて地域包括支援センターの周知を行う。 ・介護保険事業や高齢者支援事業を通じて地域包括支援センターの周知を行う。 ・地域包括支援センター運営協議会の開催(年3回) (地域課題の共有、事業評価等) ・地域ケア会議への積極的参加を行う。 ・地域包括支援センター連絡会に出席し、運営についての後方支援を行う。	【8月末】 ・広報「すみよし」(9月号)にて地域包括支援センターの総合相談窓口の周知予定。4包括にて作成の包括・ランチの役割と地図のリーフの更新し、区役所でも配架予定。 ・地域包括支援センター運営協議会1回目実施。 ・地域ケア会議へ参加中。 ・地域包括支援センター連絡会に出席、地域包括支援センター・ランチの周知ビラ作成協力。 【1月末】 ・広報「すみよし」(9月号)にて地域包括支援センターの総合相談窓口の掲載実施。 ・4包括にて作成の包括・ランチの役割と地図のリーフを更新し、配架中。 ・地域包括支援センター運営協議会、第1回第2回実施。2月に第3回運営協議会予定。 ・地域ケア会議に参加中。 ・区内地域包括支援センター連絡会に出席、地域包括支援センター・ランチの周知ビラ作成協力。

				令和4年度	
			令和4年度末時点での理想の状態 (到達目標)	計画	実施状況
		C 生活支援コーディネーターによる地域福祉の活性化	多様な主体と連携し、高齢者が主体的に健康づくりに取組み、さまざまな機会で活躍できる地域。	・ICTの活用に向けて、老人クラブと連携して高齢者向けのスマホ教室を開催する。また大学や地域と連携して、高齢者の継続的なスマホの活用を支援する。(場づくりを含む) ・テイクアウトプログラムを継続実施し、新たな担い手の創出や設置個所の拡大を行う。 ・生活支援コーディネーターのリーフレット作成やSNSの活用により、情報発信につとめる。 ・男性の社会参加を促進するため、老人福祉センターと連携した企画を実施する。 ・百歳体操など新たな活動の場の立ち上げ支援を行う。	【8月末】 ・老人クラブに働きかけ、スマホ教室の開催支援を行った。7月より月1回実施中。(7/6、8/17、9/14予定) ・山之内地域ではスマホ相談室を開設。(R3年の9月より継続支援)(R4.4/16、5/21、6/18、7/16、8/20) ・テイクアウトプログラムの継続実施。ボランティアグループに依頼し、資料を作成していただいた。 ・生活支援コーディネーターのリーフレットを9月に発行予定。 ・広報誌「社協だより」にてSNSの活用等社協のICTの取組みについて情報発信予定。 ・老人福祉センターと男性の社会参加を働きかける企画実施に向けて検討中。 ・百歳体操の立ち上げ支援として、空きスペースの見学、情報提供など実施。 【1月末】 ・老人クラブに働きかけ、スマホ教室の開催支援を実施。7月より月1回実施中。(9/14、10/12、11/22、12/12、1/26) ・山之内地域ではスマホ相談室を開設。(R3年の9月より継続支援)(9/17,10/15,11/19、12/17、1/21) ・テイクアウトプログラムの継続実施。ボランティアグループに依頼し、資料を作成していただいた。 ・生活支援コーディネーターのリーフレットを9月に発行。 ・広報誌「社協だより」にてSNSの活用等社協のICTの取組みについて情報発信。 ・老人福祉センターと男性の社会参加を働きかける企画実施予定。 (1/20「男の健康太極拳」「3/30「ウェルネスダーツ」) ・百歳体操の立ち上げ支援を実施。(生根神社での百歳体操のお試し実施11/21、12/13) ・百歳体操の立ち上げ支援として、空きスペースの見学、情報提供など実施。
② 社会福祉法人による公益的取り組み					
		A 社会福祉施設連絡会との連携	・社会福祉法人による公益的取り組みを地域につなげていけるよう社会福祉施設連絡会と連携する。	・事務局である区社会福祉協議会と連携し、社会福祉施設連絡会が開催する人材育成の取り組みを後援するなど支援を行う。 ・社会福祉施設連絡会と連携、意見交換を行い、地域の実情に応じた公益的取り組みにつなげていく。 ・区の子ども若者育成支援事業や生活困窮者自立支援事業と連携した中間就労の場について検討をお願いする。	【8月末】 ・7月29日開催の社会福祉施設連絡会の総会において、本年度の取組について確認される。 ・8月5日・6日「福祉の現場見学ツアー」実施 ・引き続き連携を図りながら中間就労の場についても検討を進めていく。 【1月末】 ・子ども若者育成支援事業からの中間就労について、2名が定着しており、引き続き連携を図っていく。

		令和4年度末時点での理想の状態 (到達目標)	令和4年度	
			計画	実施状況
	③ ビジネス的手法の導入支援			
	A CB／SB社会的ビジネス化の推進 〔計画〕	・区が関与したCB／SB起業 件数及び社会的ビジネス化事 業創出件数:1件以上	・人と人とのつながりづくりの促進、地域コミュニティの 活性化、自主財源の確保を目的に、地域が抱える様々 な課題を地域住民が主体となってビジネスの手法で課 題解決に取り組むCB／SB、社会的ビジネス化を推進 (通年) ・コミュニティ回収事業や広報紙の配布事業について、 地域活動協議会会長会で実施地域の情報共有を行い ながら、各地域活動協議会へ情報提供(年1回)	【8月末】 ・ペットボトル回収事業について、令和4年4月から1地域(遠里 小野)、令和4年8月から1地域(東粉浜)の計2地域で新規実 施。 ・令和4年5月の地域活動協議会会長会で広報紙配布事業の説 明を行い、3地域(長居・遠里小野・清水丘)については、個別に 説明会を実施。 【1月末】 ・未実施地域への働きかけを順次実施。 ・ペットボトル回収事業について、2月度(2月9日)の地域活動協 議会会長会で情報提供の予定。